



みんなちがつて
みんないい

子供のころこんな経験は誰にもあると思
います。

「比較して評価される」ということです。
わたしは男四人兄弟の三番目であります
だから、いつも親からいわれたこととい
うのは、

「一番の兄ちゃんは二年生でカルタみんな
おぼえていたよ、それにおまえは」とか。
「一番目の子は、何言わんでもお手伝いして
くれたのに」という具合です。

「となりの明雄くん見てごらん」
「親戚の滝雄ちゃんに比べてお前は」
「そんなとき、とてもみじめな気持ちにな
つたものです。

大きくなつても同じこと。
職場でも家庭でも、やっぱりなにかと比
較される。

いちばん腹の立つのは、信じあつていっし
ょになつたはずの女房から、「さん見てご
覧なさい、課長さんでしょ」なんていわれる
ことです。

ところが気づいてみたら、知らず知らずの
うちに自分でもその「比較の世界」にはま
り込んでしまっていたんです。

わが子に対しても、やつぱり自分がやられて
きたようなことをしているんです。

こないだ、三番目の娘の教科書をのぞいて
みたら、こんな詩がのつていて、わたし脳天
力が割られたような衝撃を受けたんです。
「わたしと小鳥とすず」へ金子みすゞ
という題です。

わたしが両手をひろげても、お空はちっと
もとべないが
くは走れない

とべる小鳥はわたしのように、地面をはや
わちがからだをゆすつても、きれいな音
はでないけど

あの鳴るすずはわたしのように、たくさん
歌はしないよ。

みんなちがつて、それからわたし
すずっと小鳥と、それからわたし
みんなちがつて、みんないい。

「みんな違つてみんないい」

こないだのテレホン法話でも、「一人ひとり
みんな違つて生まれてくる。ちがつたまま
がかかる世界。そこがお念佛の世界、お淨
土なのだ」と聞かされました。

なんかわたし始めて、今まで生きて来た
世界とは全く次元のちがつた、無量寿・不可
思議光の如来さまの世界に救いとられたよ
うな気持ちがしているのです。



法藏菩薩因位時
在世自在王仏所

如來とは。

久遠の昔、衆生を救いみな仏にしようと、闇
を照らすともしひを掲げてあらわれた燃灯如
來。

以来その願いと行（はたらき）とを伝え伝え
て、五十三番目にあらわれた仏を世自在王如
來と申し上げる。

修行者法藏はこの久遠の伝統に生きんため、
この師のもとで、みすから如來となり、特別
にも獨りの世にある凡愚を、清浄真実な淨土
へ救いようと、四十八とおりの誓いを建て
思惟を重ね行を積んでその結果「南無阿彌陀
仏」となられたのである。

蜘蛛の糸

芥川龍之介の童話に『蜘蛛の糸』とい

うのがありました。中2のときに読んだ
小説なのに、さすがに名作です、あれか
らズット話しに出てくるカンダタとい

人物のことがわたしのところから離れま
せん。

なんだか人事とは思えない親近感を
おぼえてしまっているのです。

カンダタは、大泥棒で大悪党でした。
それでついには地獄のいちばん底に墮

ちたのですが、たつた一つだけいいこと
をしたのを、お釈迦様は思い出してくれ
ました。

たつた一つのいいことというのは、捕
り手に追われて山の中を逃げるとき、行
く手に張られた蜘蛛の糸を見て感動し、
網の巣を破らず、蜘蛛を助けてやつたこ
とでした。

カンダタは、蜘蛛の巣みて何に感動
したのでしょうか。またお釈迦様は、蜘蛛
の巣に感心したカンダタをなんで助け
てやろうと思われたのでしょうか。

蜘蛛は、いくつもいくつもの網の目に
支えられて、それで生きています。あれ
やこれやにひっぱられて、その網の目の
なかで蜘蛛は生きています。

人間もおんなじだとカンダタは感動
したのかもしれません。

お釈迦様は、世の中のありのままのす
がたに気づいてくれたカンダタを、「お
見事」とほめてくださったのです。

蜘蛛の糸は、「自分一人が」というカ
ンダタのところでボツンと切れてしまつ
たのです。

お釈迦様は、お淨土の蓮池をのぞいて
生きているのに、それを忘れて、ほかの
奴らを地獄に落として自分一人だけ助か
ろうとしたのです。

生きているのに、それを忘れて、ほかの
奴らを地獄に落として自分一人だけ助か
ろうとしたのです。

カンダタは、ほかでもない私です。
お釈迦様は、一人で生きてるようふ
るまつている人を蹴落としても自分だけ
は生きている私を、憐れみ悲しんで
くださっているに違ひありません。

そのことに自覚めてくれたカンダタを、
その蜘蛛の糸で、お釈迦様は地獄から
助けてやりたいと思いました。

「蜘蛛の糸にすがつて。カンダタよ登
つておいで」

ところがカンダタは、だれもだれもが

四月のこよみ

四日 北豊教区京仲組門徒推進員協議会研修会→五日

六日 成田清野氏宅法事
十日 玉日会定例法座（西方寺）

十二日 生田善七氏宅法事
十三日 木村和則氏宅法事

福知山蓮正寺永代経法座
十六夜会定例法座

十九日 中西正氏宅法事
二〇日 宮嶋幸雄氏宅法事
二六日 兼井元三郎氏宅法事
二七日 藤本勉氏宅法事
三〇日 名古屋宗田寺永代経

（観世妙△△）
一一七日 春季予研修△△
一一八日 京都ご本山



手稿

ようやく春めいてまいりました。
長らくご無沙汰いたしておりますが、ご院家さま
には但馬の寒い冬をいかがお過ごしでございましょ
うか。
いつも心温まる寺報をお届けくださいましてあり
がとうございます。いつも待ち兼ねて開封していま
す。

おくれ。／あんたたち一人一人がこれから始まるあ
んたたちの人生を／うつくしく暖かく、やさしく、
そして強く、光いっぱいの人生に仕上げていく／責
任者であることを忘れないでおくれ。／それを忘れ
るようなバカにだけはならないでおくれ。
「おかげさまのどまんなか」より

入学

おめでとう

かれこれ十年も前、わたしの姉が末期癌で入院していましたとき、わたしが泊まり込みで世話をさせさせていただいていたときでした。あの(亡くなつた)奥様が度々見舞にきてくださいました。

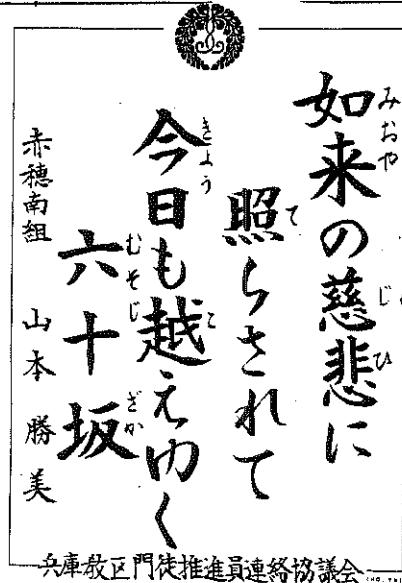
あの優しいお美しいお姿おこころ。今日のいままで忘れる事はできません。お念佛を姉と共にものとなえながら励ましてくださいました。

あれはやっぱり、ほとけさまの声で励ましてくださったんだと、在りし日の奥様の面影をしのばせていただいております。

今度、山門鐘楼の改築工事がおこなわれるとのこと。その工事を亡くなつた姉の子(わたしの甥)がさせていただくということ、寺報で読ませていただけ、ああこれも、あの奥様がさせてやって下さるのだと、思わず南無阿弥陀仏とお念佛もうさすにはおれませんでした。

昭和十七年、東井先生が舍橋小学校に転任してこられた時に、わたしたち教えて戴きました。お孫さんたちに残して逝かれたこの詩を、わたしはわたしの恩師東井先生から戴いた教えとし、これを残り少ない人生の指針として大切に生きていきたいと思っています。

自分さえ避けねば周りの人なんかどうなったっていいと言うようなケチな小さい人生にしてしまったりお父さんお母さんを悲しませたり心を傷つけたりしてしまいう人／こんなひとは／いくら頭がよくても／バカだ。／自分の人生を自分がどう生きようが勝手じゃないかという。／そして得意になり、大威張りして／自分からすすんで／とりかえしのつかない大バカになってしまう。／どうかどうか／孫たちよ／バカにだけはならないで



如來の慈悲に
照らされて
今日も越えゆく

兵庫教区門徒推進員連絡協議会

(1)葬式仏教にならないよう住職が懸命にならなければならない。(2)楽しくなければならぬ。(3)自分自身の寺に合った活動の仕方を考える。(4)時代に合つた活動方法をかんがえる。(5)寺へ行きやすいよう考へる。(機会をつくる)

以上で第一部の話し合い法座は終わり、夕食。

夜、法座第二部では、第一部で話し合つたことに関連して『仏社として何をしたらよいか』を、やはり班別で話しました。

これが午後からの法事のテーマで、これについて五班に別れての円座。それぞれ司会者・記録者となり話し合いが進められました。
その後各班から発表がありました。
「お寺（仏社）の活動を活発にするにはどうしたらよいのでしょうか」
①法事のとき法話をしてほしい。②門徒の多い寺では住職と門徒との触れ合いがとれない。③住職がもつとりードしてほしい。④門徒の多い寺では葬式法事で、ほかのこと（仏社仏婦の活動）にまで手がまわらない。⑤子供会を活発にさせたい。⑥仏婦の会員は多いが仏社は少ない。⑦役に当たるようになると会員を止めてしまう。⑧若い会員は仕事が忙しくて出席しない。⑨行事がマンネリ化している。
⑩仏社仏婦が連携し合同行事をする。
こののちまとめてとして大島講師より次のような指導がありました。

春の行事

受付	午後一時（勝林寺）
開始	午後二時（一時間半ゲーム）
会費	一、〇〇〇円
会員	午後5時（五時半開会）
会員 会費	男（一、五〇〇円） 女（一、三〇〇円）
会員 会員 会員	☆四月十九日までに仏婦評議員を通して お申し込みください

そののち就寝勤行（一一時）で一日がおわりました。
第二日。六時起床。明著堂にお晨朝参拝。のち兵庫教区の指導員の案内でお茶毘所（親鸞聖人の火葬したところ）に初めてお参りし、そこでご法話を聞きました。
朝食ののち、観光バスにて蓮如上人ご旧跡参拝（金ヶ森道場・錦織寺など）で二日間の研修を終えました。
まことに意義のある研修であったと思います。なんとかこれから勝林寺仏事活動のうえに生かし、活力ある行事を計画したいものだとかんがえております。

①若い人の参加がすくない。②旅行など計画し遊び
気分で参加を呼びかける。③夏休みに子供と一緒にラジオ体操などしてはどうか。④仏社会報の発行。
⑤若い人の意見を重視した行事を計画する。⑥役員の交替で活性化をはかる。⑦ボーリング大会など若い人が参加できるスポーツなどを通して研修会をもつ。